



うものです。市民センター初度備品の公民館事業と図書館事業は、大規模改修中となる市民センターの開館予定に併せて、必要な備品を事前に調達するためのものです。

第三表 地方債補正です。「緑野小学校放課後子ども教室整備事業債」4,000万円の限度額を設定するものです。

歳入です。「15款 国庫支出金、2項 国庫補助金、2目 民生費国庫補助金、説明欄9 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」37万5千円は、フードバンクの活動費に対する3/4補助です。

「16款 都支出金、2項 都補助金、2目 民生費都補助金、説明欄4 特定相談・一般相談連携機能強化支援事業補助金」10万8千円は、特定相談・一般相談連携機能強化支援事業に対する3/4補助です。「説明欄11 保育士等キャリアアップ補助金」384万1千円は、保育士等のキャリアアップに向けた取組に対する補助です。「説明欄19 保育力強化補助金」220万円は、保育サービスの向上を図る経費に対する10/10補助です。

「19款 繰入金、1項 繰入金、1目 基金繰入金」は、財政調整基金繰入金を1億2,529万5千円増額するものです。

「21款 諸収入、5項 雑入、1目 雑入、説明欄8 多摩川衛生組合負担金清算金」5,132万6千円は、令和5年度負担金の清算分です。

「22款 市債」は、地方債補正にて説明したとおり、教育債を4,000万円増額するものです。

歳出です。「1款 議会費、1項 議会費、1目 議会費、説明欄1 人件費」は、288万5千円減額するものです。人件費については、人事異動や給料改定等を踏まえ、各款、項ごとに増減しています。全体の増減については、後程説明します。「説明欄2 議会関係費」は、議員の期末手当を0.2月増やし、248万8千円増額するものです。

「2款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費、説明欄8 職員管理費 一般事務報酬」1,800万円は、正規職員の育児休暇等に対応するものです。「職員手当等」376万6千円は、会計年度任用職員の期末・勤勉手当です。「市町村職員退職手当組合負担金」1,524万9千円は、給料増額に対するものです。

「3款 民生費、1項 社会福祉費、1目 社会福祉総務費、説明欄26 生活困窮者自立相談支援事業 NPO法人等に対する活動支援事業補助金」50万円は、フードバンクに対して活動費を補助するものです。「説明欄31 障がい者就労・生活支援」398万1千円は、消費税の課税対象となる、障がい者就労支援事業及び障がい者地域自立生活支援センター事業について、税額分を計上するものです。「説明欄33 障がい福祉サービス事業所等補助」14万4千円

は、障がいのある方の地域移行を促進するため、地域の受け皿の情報集約拠点である特定相談支援事業者及び一般相談支援事業者が関係機関等と連携して活動するための経費を補助するものです。「説明欄38 国民健康保険特別会計繰出」400万円は、国民健康保険税の還付金が不足する見込みのため、増額するものです。「2項 児童福祉費、2目 児童措置費、説明欄10 保育所等児童運営費の保育士等キャリアアップ補助金」410万円は、東京都の補助要件拡大に伴い、補助額を増額するものです。「保育力強化事業補助金」220万円は、東京都の補助メニューに、保育所地域子育て支援推進加算が追加されたことにより、補助額を増額するものです。「4目 保育園費、説明欄3 保育園維持管理費」1,800万円は、保育士等の不足に対応するため、増額するものです。

「8款 土木費、4項 都市計画費、5目 下水道費、説明欄1 下水道事業会計繰出」342万5千円の減は、下水道事業会計で予定していた事業について、令和6年度中の実施が困難となり、事業費を減額することから、それに応じた補助金を減額するものです。

「9款 消防費、1項 消防費、1目 常備消防費、説明欄1 常備消防事務委託費」830万2千円は、負担金の確定によるものです。

「10款 教育費、1項 教育総務費、3目 教育指導費、説明欄21 情報教育推進費」54万7千円は、狛江第三小学校の普通教室化のために、必要な備品を購入するものです。「2項 小学校費、1目 学校管理費、説明欄1 学校維持管理費」489万5千円は、狛江第三小学校の生徒数増に対応するため、特別教室を普通教室へ改修するものです。「5目 学校給食費、説明欄2 学校給食費」913万6千円は、給食の材料費が高騰しているため、増額するものであり、「中学校給食費」204万5千円も、同様です。「5項 社会教育費、1目 社会教育総務費、説明欄4 放課後子ども教室整備事業」4,450万円は、第二表 債務負担行為補正にて、説明したとおり、令和7年度の開所に向けて、令和6年度及び7年度の箇年で新築工事を行うものです。

「11款 公債費」は、利率見直しと、令和5年度の借入額及び利率の確定に伴う整理により、元金を1,151万4千円減額、利子を819万3千円減額するものです。

給与費明細書です。特別職については、東京都人事委員会勧告に基づき、期末手当の支給月数を0.2月増やし、市長等の期末手当を57万5千円増額するものです。一般職については、下段の表のとおり、正規職員の育児休暇や保育園等の会計年度任用職員を増員しているため、報酬を3,300万円増額、給料では、東京都人事委員会勧告に基づき、給料改定に伴う増額を5,714万5千円、正規職員の育児休暇等による整理で222万1千円を減額、職員手当では、

東京都人事委員会勧告に基づき、期末勤勉手当の支給月数が0.2月増えるため、4,532万1千円の増額等を行うものです。

なお、人件費の期末勤勉手当の基準日が12月1日であることから、第4回定例会において初日審議をお願いします。

続いて、令和6年度狛江市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）です。今回の補正予算の内容は、不足が見込まれる、過年度還付金を増額するものです。

第一表 歳入歳出予算補正です。歳入歳出それぞれ400万円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ75億5,145万3千円とするものです。

歳入です。「4款 繰入金、1項 繰入金、1目 一般会計繰入金、説明欄1 その他一般会計繰入金」400万円は、国民健康保険税の過年度還付金に対するものです。

歳出です。「6款 諸支出金、1項 償還金及び還付金、1目 一般被保険者償還金及び還付金」400万円は、過年度の国民健康保険税を還付するものです。こちらも一般会計の補正予算と関連するため、初日審議をお願いします。

次に、令和6年度狛江市下水道事業会計補正予算（第1号）です。今回の補正予算の主な内容は、令和6年度中の実施が出来ない根川排水区浸水対策事業詳細設計等を減額するとともに、東京都人事委員会勧告に基づき、職員の給料や期末勤勉手当の増額等人件費等を整理するものです。

収益的支出です。「1款 下水道事業費用、1項 営業費用、4目 総係費、補正予定額」791万4千円は、人件費を整理するものです。

資本的収入です。「1款 資本的収入、1項 企業債、1目 建設改良事業債 補正予定額」1,968万円の減は、支出である管路建設改良費が減額となることから、その財源を併せて減額するものです。以降、3項 負担金等、1目 工事負担金、6項 国庫補助金、2目 国庫補助金、7項 都補助金、1目 都補助金、8項 他会計補助金、1目 他会計補助金についても同様に減額しています。

資本的支出です。「1款 資本的支出、1項 建設改良費、1目 管路建設改良費 補正予定額」1億6,199万円の減は、令和6年度中の実施が出来ない根川排水区浸水対策事業詳細設計等を減額するものです。以上の内容に基づき、2ページから4ページまでに収益的支出の補正、資本的支出の補正等を整理しています。

なお、一般会計と同様に、人件費の期末勤勉手当の基準日が12月1日であること等から、併せて初日審議をお願いします。

市長 特に意見等なければ、案のとおり決定します。続いて、審議事項3「ウェルこまヘルスプラン（素案）に対するパブリックコメント及び市民説明会の

実施について」の説明をお願いします。

部 長

現在、健康こまえ21、狛江市食育推進計画、いのち支える狛江市自殺対策計画を一本にまとめ、新たな計画の改定を進めています。この度、狛江市健康づくり推進協議会より、市長に中間答申がなされたことを受け、中間答申を踏まえたウェルこまヘルスプランの素案と、パブリックコメント及び市民説明会の実施について審議をお願いするものです。1ページを御覧ください。本計画は令和5年に厚生労働省から示された健康日本21（第三次）、令和3年に示された第4次食育推進計画及び令和6年に東京都が策定した東京都健康推進プラン21（第三次）等と整合を図り、それぞれの計画等の趣旨を踏まえ、健康こまえ21、狛江市食育推進計画、いのち支える狛江市自殺対策計画を1つにまとめたウェルこまヘルスプランを策定し、引き続き市民の健康づくりに努めていきます。2ページ、計画の位置付けは、狛江市第4次基本構想・後期基本計画、地域共生社会推進基本計画（福祉総合計画）を上位計画とし、健康こまえ21等を継承する計画として、市の地域性を重視した計画となっています。計画期間は令和7年度から17年度までの11年間とし、中間の令和12年度に見直しを行う予定です。5ページ、本計画の基本理念は、令和2年度に策定された狛江市福祉基本条例を踏まえ、地域ぐるみで個人の健康を支える、「人がやさしい、人にやさしい、あいとびあ狛江」の実現に努めることとします。基本方針について、前計画では基本目標を「生涯を通じた健康づくりを応援しあうまち・狛江」としていましたが、計画の体系を見直し、計画の継続性等を踏まえ、位置付けを基本方針とし、同じ内容で再設定することとします。6ページを御覧ください。からだところのバランスが良く、更に社会との関わりの中で充実感を得られ、幸せであることをウェルビーイングといいます。ウェルビーイングは国において指標や概念として活用しており、本計画においても計画の体系に示しました。従前の計画は健康に関する分野に特化していましたが、本計画については、食育推進に加え、ところの健康が大きなテーマである自殺対策推進の計画を包含したことから、からだ、ところ、社会とのつながりの3点をウェルビーイングの視点として捉え、計画を推進するものです。7ページを御覧ください。本計画より、幸せを実現する健康づくりとしてウェルビーイングの考え方を導入したこと、食育推進計画及び自殺対策計画を包含し、健康分野の総合計画となったことから、健康づくり推進協議会において、新たな計画名としてウェルこまヘルスプランと名付けました。「ウェル」はウェルビーイング、「こまヘルス」は狛江とヘルスを掛け合わせたものとなっています。8ページ、計画の構成は、「基本目標1「生活習慣病の予防」から「基本目標5 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現（いのち支える自殺対策計画）」までの5つ

の目標で構成しています。9ページからは人口、高齢者や健康診査等、狛江市の健康状況を記載しています。17ページを御覧ください。今回の計画を策定するに当たり、前計画を策定し、平成31年度に中間評価を行っていますが、その後の令和5年度における成果指標の評価を記載しています。前回よりも状況が悪化している項目の方が多くなっていることが分かります。20ページを御覧ください。次ページ以降の施策の展開の各論である、基本目標、施策の展開、分野別目標、指標、主な取組について一覧表にまとめたものです。健康については基本目標の1から3までに、食育については4に、自殺対策については5を基本目標とし、取りまとめています。基本目標1 生活習慣病の予防について、施策の展開として、(1) がん対策、(2) 糖尿病 (3) 循環器系疾患としています。基本目標2 健康づくりの推進について、施策の展開として、(1) 歯の健康、(2) 栄養・食生活、(3) 身体活動・運動、(4) 休養・睡眠、(5) アルコール・たばことしています。基本目標3 思いやり・ささえあいの環境づくりについて、ウェルビーイングの概念を踏まえ、主観的幸福感や健康感を実感できる取組を展開することとしています。基本目標4 食によるからだところの健康の実現(食育推進計画)について、食に関心を持ち、3食バランスよく食べ、食を楽しむことができるような取組を展開することとしています。基本目標5 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現(いのち支える自殺対策計画)について、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す姿としています。現状を詳しく整理、分析し、課題抽出を行い、必要な取組を推進することとしています。地域ネットワークの強化、人材育成、啓発・教育、生きることの促進要因への支援、SOSの出し方教育を基本施策とし、自殺死亡率を下げることを指標とした計画としています。104ページ、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりについてです。ライフコースアプローチとは、乳幼児、学童、思春期、成人、壮年期、高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくりのことであり、既存の取組にその視点を取り入れ、将来に渡って健康に貢献するような取組となるよう推進することとしています。105ページを御覧ください。本計画の推進体制について記載し、最後に資料編としています。

次に、パブリックコメント及び市民説明会についてです。パブリックコメントについては、12月15日から1月15日までの1箇月間実施し、市民説明会は12月20日夜間及び12月21日日中の2回実施予定です。説明会については、より多くの方に参加いただけるよう、ハイブリッドで市公式YouTubeでの配信を予定しています。各部において内容を確認いただき、次回庁議で再度審議をお願いします。今後の流れとしては、パブリックコメント及び市民説明会を実施後、パブリックコメントの結果報告を庁議にて行います。1月下旬

までに狛江市健康づくり推進協議会で結果報告及び最終答申案を審議し、2月下旬から3月上旬に庁議にて最終答申を受けて作成した素案を審議いただき、計画を確定予定です。各部において素案内容を確認いただき、お気づきの点等があれば、11月15日正午までに健康推進課へ連絡をお願いします。

市 長 総合基本計画も改訂中ですが、そちらにはウェルビーイングの考えが反映されているのですか。

部 長 総合計画上にウェルビーイングという言葉は含まれていません。

市 長 今回の素案に限らず、上位計画との整合性が取れるよう、調整してください。

副市長 各課の取組を具体的に記載していますが、庁内検討委員会が設置されているのですか。

部 長 自殺対策に関しては、庁内検討委員会が設置され、そちらの意見を踏まえて記載しています。

市 長 基本計画だけでなく、関連する計画との調整も行ってください。

教育長 第4期教育振興基本方針を検討しているところですが、ウェルビーイングの概念が専門家によって異なることや欧米と日本でも言葉の定義が異なることから、教育基本方針における定義を示すことで、基本計画との整合を図りました。

市 長 他に意見等なければ、次回以降の庁議において継続審議とします。次に、報告事項1「令和7年度一般会計予算要求の状況について」を報告してください。

部 長 予算要求状況は、職員人件費を除いて339億294万4,000円、令和6年度当初予算比で38億6,174万8,000円、12.9%増となっています。主な増額要因は、教育費が24億1,884万円と最も大きく伸びており、市民センター大規模改修事業や緑野小学校空調設備整備工事、2箇年となる市民総合体育館大規模改修事業や、新図書館新築事業等の普通建設事業費が主なものとなっています。また、民生費10億6,176万8,000円と伸びており、児童手当の制度改正によるもののほか、保育所等児童運営費、学童クラブの民営化による児童館関係費が大きく伸びています。その他、増減は大きくありませんが、総務費のシステム標準化経費が令和6年度に引き続き大きく伸びており、標準化に関連する経費は総務費に限らず、各款のシステム経費で大幅な増となっています。中期財政計画の見込みから22億円強の超過となっている状況です。本庁議後より部ごとに政策調整会議を行い、政策的に課題となる案件について調整を図ります。

市 長 国や都の制度により増額しているものもありますが、市の単独事業として増額しているものについては精査して予算を決定していきます。報告事項2

『地域活性化包括連携協定』及び『災害時における給電車両貸与に関する協定』の締結について」を報告してください。

部 長 この度、トヨタモビリティ東京株式会社から地域の課題に対し、トヨタのアセットをフル活用し、より魅力のあふれるまちづくりを市と連携して取り組みたいとの提案をいただき、「地域活性化包括連携協定」及び「災害時における給電車両貸与に関する協定」をトヨタモビリティ東京株式会社と11月7日に締結しました。今回の地域活性化包括連携協定を締結することで、教育・スポーツの振興、暮らしの安全・安心に関すること、商工業及び農業振興に関すること等を連携して取り組んでいきます。各部においても、連携内容を検討いただき、活用できそうな事業等があれば、政策室まで相談してください。

部 長 「災害時における給電車両貸与に関する協定」ですが、地震、風水害等の災害により、市内で大規模停電等の電力が不足する事態が発生した場合に、給電車両を貸与いただくものです。市の災害対応力の向上に大きく寄与するものと捉えているため、平時から訓練等により協力関係を構築できればと考えています。

市 長 教育・環境分野での連携も期待されるため、各部において活用の検討をお願いします。

その他ありますか。

部 長 令和6年能登半島地震災害義援金の受付期間の延長についてです。能登半島地震の発生から10箇月が経過しました。石川県内で被害を受けた住宅はおよそ9万1000棟に上っており、現在も住まいの再建に向けた支援が引き続き求められています。現在、福祉政策課窓口を設置している募金箱については、1月10日から12月27日までの設置としていましたが、被災地の状況を鑑み、設置期間を令和7年12月26日まで延長します。日本赤十字社でも引き続き令和6年能登半島地震災害義援金を受付しています。

市 長 市民まつりでは募集するスペースを設ける予定はありますか。

部 長 現在予定しているものではありませんが、検討します。

市 長 他にありますか。

部 長 狛江まちみらいラボの会報についてです。狛江まちみらいラボにおいて、会報を作成したため、会員向けに送付するとともに、商工会等に配架予定です。

市 長 他にありますか。

部 長 議場結婚式及びアフターティーパーティーの実施結果についてです。11月9日に2組の議場結婚式を実施しました。当日は天候にも恵まれ、市長及び議長に列席いただき、第1部として、議場において結婚式が執り行われた

後、第2部のほこみちオープニングイベント事業として、アフターティーパーティーが開催されました。議場結婚式では、2組合わせて24人の方に参加いただきました。その後、ほこみちへ移動したティーパーティーでは市民の方にも見守られながら、なごやかな雰囲気の中で行われました。

市 長 天候にも恵まれ、良い式となりました。他にありますか。

部 長 Tokyo 区市町村 DXaward2024 の結果についてです。東京都では、行政課題のDXによる解決を目指した自治体・職員の取組や提案を横展開するとともに、DXに取り組むマインドの醸成を図ることを目的に、令和5年度からDXawardを開催し、今回は2回目となります。今回は34自治体と個人から、延べ79の取組のエントリーがあり、市からは、業務改善部門で福祉相談課の生活保護AIヘルプデスクサービスの導入、DXアイデア部門で、現在GovTech東京に出向している北浦主任の国民健康保険診療報酬明細書・資格点検が一次審査を通過し、11月6日の本選でプレゼンを行いました。この結果、生活保護AIヘルプデスクサービスの導入が、最も横展開しやすいものとして評価され、DXスプリント賞を受賞しました。

市 長 他にありますか。

部 長 教育部の部内業務応援制度の実施についてです。年末に向け、中学校部活動の地域移行・地域連携に関する連絡協議会や実証事業における委託業者との調整、東京都との業務連携等の業務が過多となることが見込まれるため、部内応援制度を活用し指導室指導教職員係へ、図書館の職員が応援します。期間は11月6日から12月26日までを予定しています。

市 長 他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、11月19日午前9時00分から開催します。